

午前5時半に車のエンジンを掛けると、車のモニターは-12℃を示していました。もう2月の下旬だというのに異常ともいえる冷え込み。カーナビで蛾ヶ岳登山口を検索すると「ひるが」までしか入力が続かず、結局「四尾連湖」で検索して行先を入力した。そもそも「蛾ヶ岳」を「ひるがたけ」と読むのは知っていなければ読めません。それに四尾連湖(しびれこ)も変わった名前で、それぞれの名前の由来について知りたいところでしたが、今回それについては何の手掛かりも得られませんでした。それはさて置き、7時過ぎに着いた駐車場には車が数台のみ。あまり大勢の登山者が訪れるところでもない様です。

四尾連湖のほとりのトイレに寄って、支度を整えていざ出発。少し行くとしばらく急こう配が続く。けれどここの登山道は木の根っこや岩ゴロゴロがあまりなく、落ち葉を敷き詰めたフラットな道でとても歩き易かった。急登を登り切って尾根へ出ると、そこから蛾ヶ岳までは尾根歩き。痩せ尾根をいくつも通り抜けていく間、左斜面から吹き上げる冷たい風が体の左側面だけを冷し続けて顔を強張らせました。蛾ヶ岳山頂手前に「山頂まであと15分」の案内板があり、そこからはほぼ直登かと思われる道を上り詰め、ようやく山頂に到着。山頂には数人休憩していました。頂上周辺は視界を遮る木が整理され、富士山を始め南アルプス北岳、間ノ岳、農鳥岳、また八ヶ岳連峰等々、快晴の青空と共に絶景が並びました。山頂で出会った人と話をしていると、地元が同じという事が分かり、会話が弾みました。その人は我々より1時間以上早く家を出ており、もう一つ先の大平山まで足を延ばして戻ってきたところでした。

時間はまだ9時。ゆっくりめの時間設定とはいえ小1時間ほど予定より早く、少し物足りなさもあって我々も予定していなかった大平山まで足を延ばすことにしました。気軽に考えていましたが、少し先へ進むとロープを張った急斜面の下り。しかも土埃と砂状の土が滑りやすく、否応なしに慎重を余儀なくされました。ここを降りるという事は帰りにここを登り返すという事か。そんなことを考えながら下り終えて次の登りへ。そこを登り終えるとまた結構な下りが目の前に。メンバー一同しばし沈黙ののち、誰かが「どうする。大平山まで行っても大して景色は変わらないよね。」みんな口々に「そうだね」と賛同して、30分ほどであっさり方向転換。来た道に戻って再び蛾ヶ岳山頂へ。そこで大休憩をとって帰路につきました。

下りでは11時過ぎにもかかわらず、これから登ってくる人に何組も出合いました。それだけ気軽に登れる山という事なのか。帰りは少しコースを変えて大畠山経由で下山。山頂には大きなアンテナが設置され、それを設置するために開いたと思われる林道を下りました。下方に四尾連湖が見え隠れしながら徐々に近づいてきます。湖畔まで下りきってすぐ近くの駐車場まで。あちこち寄り道しながら予定より少し早めの到着。お疲れ様でした。

【コースタイム】 天候：快晴

蛾ヶ岳登山口 7:35~8:00 四尾連湖分岐~8:40 西肩峠~9:00 蛾ヶ岳 9:15~

大平山までの中間点折り返し~10:15 蛾ヶ岳 10:45~11:35 大畠山~12:00 四尾連峠~

12:20 蛾ヶ岳登山口着



▲やせ尾根が何か所も



▲八ヶ岳



◀右端の黒い山は竜ヶ岳  
富士山が美しい！

大島山山頂▶

眼下に甲府盆地▶

八ヶ岳・他奥秩父山塊▶





#### ◀南アルプス

右から白鳳三山・塩見岳・赤石

#### 四尾連湖とキャンプ場▶



#### 【ひるがたけ蛾ヶ岳の名前の由来】

蛾は当て字で、戦国大名の武田氏の城から南を望むと、正午頃に太陽がこの山の山頂を指すので、「昼ヶ岳」となり、中国の峨眉山にかけて「蛾ヶ岳」となったという言い伝えがある。

#### 【しびれこ四尾連湖】

山梨県西八代郡市川三郷町にある自然湖（陥没湖）である。甲府盆地の南方、東西に連なる御坂山地の最西部、蛾ヶ岳（ひるがたけ）山頂付近にある山上湖で、別名、志比礼湖（しびれのうみ）、神秘麗湖とも書かれる。

四尾連の湖名は地元で伝わる湖の神が「尾崎龍王」という龍神であり、4つの尾を連ねた竜が住んでいるという言い伝えであることが由来であり、湖にほど近い小字名も四尾連である。[雨乞い](#)信仰の湖としても知られ、牛馬骨を投げ込んだ祈雨祈願が行われていたという。流入する河川も、流出する河川もない[内陸湖](#)で、湖畔には[キャンプ場](#)が設けられている。なお、湖畔はキャンプ場を管理している「水明荘」または「龍雲荘」の私有地であり、指定された有料駐車場以外の駐車は禁止である。

#### 【編集後記】

とても良く整備された歩きやすいハイキングコースだったが、超乾燥状態の登山道は砂礫、砂ぼこりが凄くて黒ズボンの2人は真っ白状態になった。  
( 辻記 )